

フィールドで出会う

# 風と人と土 2

田中樹・宮寄英寿・石本雄大 編







































## 使用写真

- 表紙 お面をかぶる子ども  
[2007年10月 プータン 撮影=田中樹]
- P.1 放牧宿営地の朝  
[2013年10月 インド・ラージャスターン州 撮影=宮寄英寿]
- P.2 「写真撮ってよ」と子どもたちにせがまれた  
[2015年2月 タンザニア・キリマンジャロ州 撮影=田中樹]
- P.3 道端が市場になった  
[2011年6月 ベトナム・フエ市近郊 撮影=田中樹]
- P.4 ため池と農耕地の調査  
[2016年3月 インド・タミルナードゥ州 撮影=田中樹]
- P.5 野菜畑を見回る女性  
[2014年6月 セネガル・中西部 撮影=田中樹]
- P.6 牛乳をかきまぜバターをつくる  
[2014年8月 インド・ラージャスターン州 撮影=宮寄英寿]
- P.7 小舟をつくる  
[2012年3月 カンボジア・トンレサップ湖 撮影=田中樹]
- P.8 収穫した海藻を干す  
[2013年8月 タンザニア・ザンジバル 撮影=田中樹]
- P.9 マサイの村での昼食風景  
[2016年10月 ケニア・リフトバレー州 撮影=田中樹]
- 裏表紙 自噴する水で遊ぶ子ども  
[2011年12月 ナミビア・中部 撮影=田中樹]







「フィールドで出会う風と人と土」の第二巻をお届けします。

同じ名前のエッセイ（第一巻）を2017年3月に刊行したあとに、思わぬ反響がありました。一つは、記事を読んだ方々からのさまざまな声 ― 要約すると「もっと知りたい」 ― でした。その「知りたい」の中には、世界のあちこちの自然や風景、暮らし、そしてフィールド研究そのものや研究者についてなどが含まれていました。また、読者自身の内面にある想いや感性に出会いたいという感想もありました。もう一つは、何名かの若手の研究者らからの「私もこのような記事を書いてみたい」という声でした。

この二つの声をつなげてみることにしました。

第二巻の執筆者らも、アフリカやアジアの山や海や村落や都市でフィールド研究をしてきました。記事の内容は、食べ物、家畜、芸術、自然、生業（なりわい）、あそびなど十人十色です。そこには、さまざまな出会いや発見、物語、想いがあります。

普段、研究の成果を学術論文にまとめることをしている私たちにとって、このようなエッセイを書くことは新鮮な挑戦であり経験です。まだまだ手探りの状態ですが、私たちと読み手との出会いや共有の「場」と「機会」としたいとの想いを込めました。

田中樹、宮寄英寿、石本雄大

## 目次

- 014 プライド・オブ・ウガンダ飯 大門 碧
- 020 西アフリカ外食紀行 その3―屋台からレストランへ：ある女性の成功物語 清水 貴夫
- 026 野生果実と栄養摂取 ―ザンビア農村での間食 石本雄大、宮寄英寿
- 032 初めての海外調査とお弁当 荒木 良一
- 035 牛たちの軌跡 桐越仁美
- 042 西アフリカ、ブルキナファソにおける恋愛と結婚 町慶彦
- 047 太陽が欠けた日 神代ちひろ
- 052 ティエベレの壁塗りのレシピ 前田 菜月
- 064 ガーナの森林にて 渡邊 芳倫
- 068 フィールドが楽しくなった時―想定外の楽しさで新たな自分と出会う 柴田 誠
- 074 かくれんぼとマンゴー??―ザンビアと日本の子どもの遊び 伊藤 千尋
- 079 タンザニアの恩師 中村 亮
- 084 南部アフリカに舞う緑の蝶 手代木 功基
- 090 湾岸諸国でのインド人移民労働者の暮らし ―南インド、タミル・ナードゥ州から UAE へ  
宮寄英寿、ムニアンディ・ジェガディーサン
- 097 祭りとともに生きるネパールの人びと 砂野 唯
- 105 2016年の「西遊記」―インドの二つのナーランダ大学 寺田 匡宏
- 110 編者と執筆者の紹介



## フィールドで出会う風と人と土 2

---

編 者 田中樹 宮寄英寿 石本雄大  
デザイン 鈴木あき(すずきち)  
発 行 総合地球環境学研究所  
京都市北区上賀茂本山457番地4  
発 行 日 2018年2月5日

©2018 田中樹、宮寄英寿、石本雄大  
ISBN978-4-906888-49-8

